

やまがたでつながる

2019.8.1(木)~12(日迄)

8.1,5,6,7,9日

ポータルアート

10:00~16:30

18:00 まで

2019

山形県郷土館「文翔館」

きざしとまなざし

キヤンデー1・2・3・4

山形・福島・新潟

入場料無料

障がい者芸術

交流展

山形県障がい者

芸術作品

公募展

やまがたでつながるボーダレスアート2019 きざしとまなざし 山形・福島・新潟 障がい者芸術交流展 やまがた障がい者芸術作品公募展

障がいのある人たちをとりまく環境には、表現の「きざし」があり、その表現に寄りそう「まなざし」があります。

障がいのある人たちの表現は、このような相互の関係性でかたちづかれているともいえます。

この公募展をきっかけに、障がいのある人たちの表現(=「きざし」)が、それを鑑賞するみなさんの「まなざし」、そしてその先に開かれた社会の「まなざし」へと広がっていく機会になればと思います。表現の「きざし」と、それに寄りそう「まなざし」を是非ご体験ください。

【開催概要】

会場: 山形県郷土館「文翔館」3階 ギャラリー1・2・3・4 (山形市旅籠町3-4-51)

会期: 2019年8月1日(木) — 12日(月) 10:00~16:30 [入場料無料]

※8月1日(木)、5日(月)、6日(火)、7日(水)のみ 10:00~18:00

主催: やまがた障がい者芸術活動推進センター ぎゃらりーら・ら・ら

共催: 山形県

【山形・福島・新潟 障がい者芸術交流展】

山形、新潟、福島の障がいのある人の表現活動にかかわるプロジェクトを紹介します。プロジェクトと共に作家と支援者の関係性に着目し、寄りそう人の目線から印象的なエピソードをピックアップし、作品と共に支援者の言葉や作家のポートレートなどを展示します。

※会場: 文翔館3階 ギャラリー4

●交流展 出品プロジェクト

山形: ながいアートプロジェクトまちめぐり美術館(長井市) ほか

新潟: 角地智史さん(写真家/アートディレクター)×田中仁さんによるプロジェクト

福島: 社会福祉法人安積愛育園 はじまりの美術館 アーカイブプロジェクト ほか

【やまがた障がい者芸術作品公募展】

山形県出身または在住の障がいのある方から公募した作品を展示します。

※会場: 文翔館3階 ギャラリー1・2・3

●審査員: 瀬尾夏美(アーティスト)

土地の人びとのことばと風景の記録を考えながら、絵や文章をつくっている。陸前高田市(岩手県)を拠点とした制作を経て、2015年仙台市で、土地との協働を通じた記録活動を行う一般社団法人NOOKを立ち上げる。著書に『あわいゆくころ 陸前高田、震災後を生きる』(晶文社)がある。

●審査員: ライラ・カセム(グラフィックデザイナー/東京大学先端研 特任助教)

日本生まれ世界育ちのイギリス人。多人種、障がい者など、様々なアイデンティティを持つことから自身を「一人国連」と呼ぶ。デザイナーとして自らのスキルを社会福祉の現場での専門性と掛け合わせ、障がいなどを持つアーティストの社会参加と経済自立を促すための商品開発やデザインプログラム・ワークショップの企画・運営などを国内外で行っている。

ボーダレスアート2018の展示風景



●審査員: halkan LLP(キュレーションチーム)

山形出身の画家・スガノサカエ(1947-2016)のマネジメントをきっかけに結成された二人組チーム(アイハラケンジ[アートディレクター/東北芸術工科大学准教授]、三浦晴子[キュレーター/フォトグラファー])。展覧会のキュレーションや構成・デザイン、アーティストブックの企画・制作・出版、アーティストマネジメントなど、幅広く活動を展開している。

●公募展 表彰式

日時: 2019年8月1日(木) 13:30~14:00

会場: 文翔館 講場ホール

●公募展 審査員によるギャラリートーク

日時: 2019年8月1日(木) 14:00~14:30

会場: 文翔館 講場ホール

登壇者: 瀬尾夏美、ライラ・カセム、三浦晴子(halkan LLP)

【トークイベント—つながる、かんがえる—】

各地域の障がいのある人の表現活動に関する取り組みの実践報告と、ゲストを招いたトークを行います。障がいのある人たちの表現(=「きざし」)をみつけたり、その「きざし」を人に伝えるにはどんなことが大切なのでしょう? 地域や分野を越えて集ったみなさんと学びあい考えてみましょう。

日時: 2019年8月1日(木) 18:00~20:00

会場: 文翔館 講場ホール

●トーク1: Creating Together —共に創造すること—

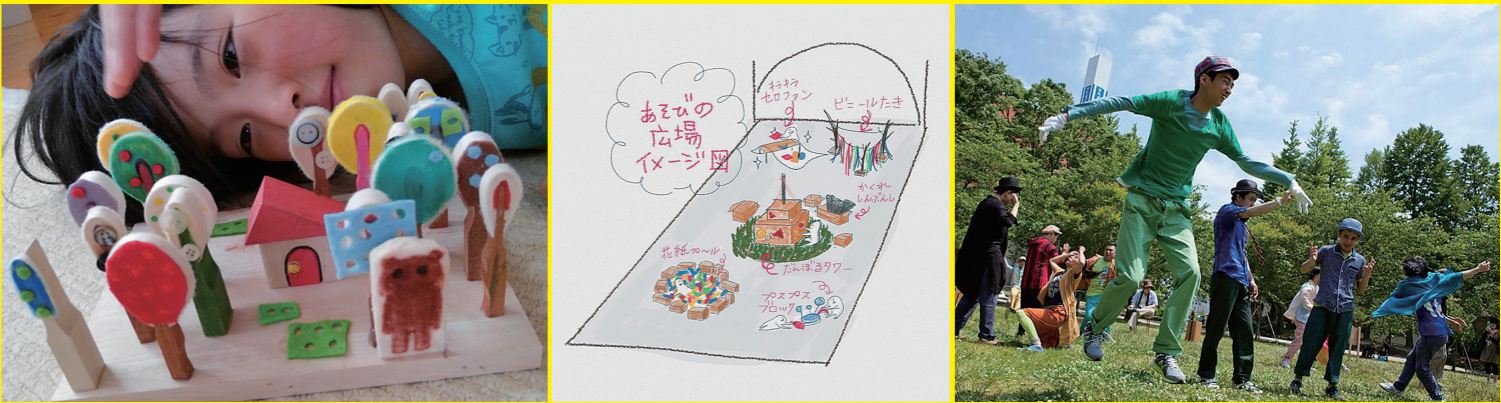
デザイナーとして障がい福祉の現場に入り、現場スタッフとともに才能・経験問わず、障がいのあるアーティストの秘めた才能を拡張・開花させる「8つのメソッド」などを東京藝術大学大学院在学時に実践。以後全国各地の施設で実践すると共に地元デザイナー・施設スタッフと障がいのあるアーティストをつなげ経済自立や社会参加に繋がるプロジェクトを国内外で企画・開催。今回はその活用方法などをお話します。

登壇者: ライラ・カセム(グラフィックデザイナー/東京大学先端研 特任助教)

●トーク2: 山形、福島、新潟の実践報告

各県の障がい者芸術関係団体などの活動や取り組みを発表します。

登壇者: 福島/小林竜也(社会福祉法人安積愛育園 はじまりの美術館)、新潟/角地智史(写真家/アートディレクター)、山形/佐藤敬子(ながいアートプロジェクトまちめぐり美術館)



ワークショップイメージ: 左から、ピアノの木でつくろう、あそびの広場をつくろう in 文翔館、タムタム&やまじさんと音であそぼう

●トーク-3: ディスカッション

登壇者全員によるディスカッションを行います。

登壇者: 瀬尾夏美(アーティスト)、ライラ・カセム、小林竜也、角地智史、佐藤敬子

聞き手: 武田和恵(やまがた障がい者芸術活動推進センター)

【ワークショップ—楽しむ、やってみる—】

期間中、さまざまなワークショップなどのイベントも開催いたします。ふるってご参加ください。参加のお申し込みは、やまがた障がい者芸術活動推進センター ぎゃらりーら・ら・らまで電話、メールをお願いします。

●ピアノの木でつくろう

ピアノの中を見た事がありますか? ピアノはいろいろな形の木をたくさん使っています。とてもユニークでもしろい形のピアノの木片を実際に見て触れて、楽しくキーホルダーやオブジェづくりをしてみませんか?

日時: 2019年8月3日(土) 10:30~11:30/13:30~14:30 (午前と午後の2回開催)

会場: 文翔館3階 会議室1

定員: 各回 15名/参加費無料

ファシリテータ: カワイ絵画造形教室

※ファシリテータプロフィール: 「子どもは生まれながらに個性的。造形表現は一人ひとりが答えを生み出す世界」という考えのもと、子どもたちが十分に「表現を通して自分を磨く」ことができる環境(人・もの)を提供しています。

●あそびの広場をつくろう! in 文翔館

文翔館の中にある広い議会ホールの中に、みんなであそびの広場をつくります。段ボールのタワー、新聞紙の海、紙ひもの線路などなど、いろんな素材を使いながら、あそびの世界を広げていきましょう!

日時: 2019年8月4日(日) 10:00~12:00/14:00~16:00 (午前と午後の2回開催)

会場: 文翔館 講場ホール

定員: 上記時間内出入り自由/参加費無料

ファシリテータ: イシザワ エリ(アートワークショッププランナー)

※ファシリテータプロフィール: 山形県中山町出身。身近な素材を使って、子どもも大人も気軽に参加できるアートワークショップの企画を行っています。活動を通して「当たり前」が変わるオドロキ・知らなかった世界に出会えるワクワクを多くの人に感じてもらいたいと考えています。

●タムタム&やまじさんと音で遊ぼう

いつも音で遊んでいる、多夢多夢舎のメンバーや、やまじさんと一緒に、みんなの音を聴いてみたり、自分の音を聴いてみたり。会場に響く音を感じながら音で遊んだりからだを動かしてみましょう。

日時: 2019年8月5日(月) 10:30~11:30/13:30~15:00 (午前と午後の2回開催)

会場: 文翔館 講場ホール

定員: 各回 15名/参加費無料

ファシリテータ: 多夢多夢舎中山工房メンバー、山路千恵子(即興音楽家)

※ファシリテータプロフィール: 多夢多夢舎中山工房/仙台市にある多夢多夢舎には、障がいのあるメンバーが通っています。絵や音楽、パフォーマンスなど、メンバーの持つ魅力は、さまざまな形になって世の中に明るく飛び出します。

山路智恵子/2001年より仙台の音楽グループyumboにドラムで参加。日用品を演

奏したり、うどん打ちを演奏と捉えるなど、生活の場面で音と遊んでいる。神戸の即興演奏グループ音遊びの会にも参加。

【関連企画「やまがたのきざしとまなざし」】

本展覧会に合わせ、山形県内の作家とその支援者を取材し、障がいのある人たちの表現(=「きざし」)と、それに寄りそう「まなざし」に焦点をあてた関連企画展示をおこないます。

会期: 2019年8月1日(木) — 9月27日(金) 10:00~17:00

会場: やまがた障がい者芸術活動推進センター 社会福祉法人愛泉会 ぎゃらりーら・ら・ら(山形県山形市諏訪町3-2-7)

【やまがた障がい者芸術活動推進センターぎゃらりーら・ら・らについて】

社会福祉法人愛泉会では、平成23年に「ぎゃらりーら・ら・ら」を開設、平成28年度からは山形県の事業として、障がいのある人の芸術活動の普及支援に取り組んでいます。新たな価値創造の発信を続け、互いを尊重し理解しあえる包容力のある地域社会創造を目指し活動しています。

【お問い合わせ先・ワークショップお申し込み先】

やまがた障がい者芸術活動推進センター

社会福祉法人愛泉会 ぎゃらりーら・ら・ら

〒990-0033 山形県山形市諏訪町1-2-7

TEL: 023-674-8628

FAX: 023-674-8629

E-mail: g.lalala@silver.ocn.ne.jp

【山形県郷土館「文翔館」へのアクセス】

JR「山形」駅から車で約9分。山形交通バス「山形市役所前」バス停から徒歩1分。山形市中心市街地100円循環ベニちゃんバス「旅籠町2丁目(市役所南口)」バス停から徒歩5分。

※文翔館北側に専用駐車場があります(約40台)。満車の場合は周辺の有料駐車場をご利用ください。(割引サービスはございません)

※身体障がい者用駐車場もございます。文翔館北側の緑のコーンより進入→駐車場後、北側入口インターフォンより文翔館スタッフをお呼びください。

